

# クラスリーダーが贈る！ 大学合格への

# 道しるべ

Vol.2

クラスリーダーは、駿台出身の現役大学生です。授業の合間に自身の受験体験談をお伝えしたり、日頃の学習や進路についての相談をしたりする事で、生徒の皆さんをサポートしています。

「大学合格への道しるべ」では、駿台お茶の水校のクラスリーダーが、高校生の皆さんの“今”のお悩みに合わせて、毎月アドバイスをしていきます。ぜひ、進路選択や学習の参考にしてください。

高1生・高2生はコチラをタップ

11月は「[選択科目の学習法](#)」がテーマです。

高3生はコチラをタップ

11月は「[過去問の取り組み方・出願時の注意点](#)」がテーマです。

## 選択科目の学習法

高1生・高2生

### 東京大学・法学部・第1類・3年生

文理決定済みの高1の皆さんや多くの高2の皆さんは、そろそろ地歴/理科の勉強どうしよう……と思っている人も多いのではないのでしょうか？高3を迎える前に選択科目に手を付けられていると非常に楽になります。教科書の基本的な部分の理解や駿台のイベントなどを積極的に利用し、一通りの範囲をカバーしておくとおくと良いです！

### 東京大学・教養学部・文科三類・2年生

地歴は覚える内容が多く、高3から始めても間に合わない人が多いので、高2で大枠をつかんでおくことをおすすめします。勉強の仕方については、まず一冊本命の教科書や参考書を決めて、それを軸にインプットとアウトプットを並行しておこなうのが良いと思います。

### 東京大学・教養学部・理科二類・2年生

理科は無機化学と有機化学のように基本さえおさえれば分野をまたがず独立した内容が多いこと、人の話を聞いたほうが理解しやすいことなどから、独学で先取りせずに駿台や学校の授業をベースに自分では各分野の復習、演習をひとつずつ重ねることをおすすめします。生物や化学はビジュアルで覚えるのも効果的なので図表なども活用しましょう。

### 東京学芸大学・教育学部・初等教育教員養成・4年生

私は化学・生物の2科目を受験に使いました。生物は苦手なところが減らず、化学は得意分野を伸ばす方針で勉強しました。どちらも市販の問題集を使い、一冊を完全にマスターすることを目指しました。化学と生物では学習内容が重なる部分があるため、まずは化学の方で基礎的な化学反応を勉強した後、生物の方の理解を深めていきました。最終的に私大の理学部の入試で化学・生物共に使い、合格するまでの力をつけました。

### 早稲田大学・基幹理工学部・学系Ⅱ・1年生

私は物理・化学の2科目を受験に使い、物理は受験科目で最も苦手、化学は最も得意でした。方針として「物理は高3の夏までに苦手克服、その後に化学をしっかり得点源にしよう」と考えていたので、物理は一冊の問題集の答えを暗記してしまうほどまでやりこみ、化学は9月頃から『東大化学27カ年』を解き始めました。最終的に東大には落ちてしまいましたが、物理・化学共に目標としていた点数に到達することができました。

## 過去問の取り組み方

高3生

### 東京大学・工学部・応用化学科・3年生

過去問に取り組む際、国語や英語の記述問題は必ず先生に添削してもらっていました。理科(特に物理)は、どの問題にどのくらいスペースを使うかなどの答案の作り方が難しいので、解き直しの際は間違えた箇所だけでなく一から答案を作り直していました。数学は、間違えた問題のポイントを自分なりに言葉でまとめておくことで復習しやすいと思います。

### 東京大学・教養学部・文科二類・2年生

過去問について、英数国は本番の目標点数を予め考えておき、実際解いてみた点数と目標点数を比べ、目標に達していない場合は、「どの問題で点数を落とすべきではなかったのか」「その問題をなぜ落としてしまったのか」といった原因分析をしました。社会は解答を参照した後、もう一度自分で解き直し、本当に知識が身についているか確認するなどしていました。

## 東京工業大学・生命理工学院・1年生

周りの友達が、「もう過去問を解き始めた」「何年分解く」などと話しているのが聞こえてきますが、過去問は焦って解き始める必要はないです。私は、ある程度問題演習が進んでから、時間を測って解き、癖の研究ではなく、あくまでも問題構成の把握に努めました。直しは、付属の解説だけでなく、自分が普段使っている参考書や問題集に類題がないか探して、それも合わせて解くと、その範囲が定着しました。



### 過去問演習について

POINT!

駿台では、駿台文庫から発行している過去問題集「青本」で過去問演習ができるほか、「過去問・分野別演習システム」で過去問演習ができます。

「青本」…全国の取扱書店でお買い求めいただけます。

「過去問・分野別演習システム」  
…詳細・お申込みは[コチラ](#)

## 出願時の注意点

高3生

### 東京工業大学・社会環境学院・1年生

出願時に一番大切なことは、自分の出願するかもしれない大学のHPを見ることだと思います。最近は冊子やHPなどで、色々な大学の出願情報がまとめられています。それを活用することは悪いことではないのですが、記載情報が間違っていたり、その後、変更されたりする可能性が十分あります。正しい受験情報を得るためにも、大学のHPは必ず確認することが大切です。

### 立教大学・経済学部・3年生

「出願手続きは初日に！」を心がけました。私は全ての受験校の出願に必要な書類を出願期間初日に入力し、翌日に振込をしました。手間のかかる事を早めに済ませた事で、その後は勉強に集中できました。また、早めに出願準備に取り掛かることで、不備・不足物の確認が余裕をもってできます。「出願が受理されず、受験できなかった！」とにならないためにも、早め早めの出願をお勧めします。

### 慶應義塾大学・文学部・人文社会学科・2年生

受験勉強に集中する時間を確保するためにも、大学の出願は、出願締切日に関わらず早めに出願する事がポイントです。そしてもう一つのポイントは、周りの人と協力をして出願をすることです。私は事務手続きが苦手でしたが、家族と協力することで出願手続きをミスすることなく、スムーズに出願することができました。



いかがでしたか？皆さんの進路選択のヒントになれば幸いです。

次回は12月に、高1生・高2生は「冬期の学習法」について、高3生は「冬期・直前期の学習・大学対策」について掲載します。

<駿台からのご案内> 多数の申込が予想されますので、お早めにお申し込みください！

◆ 冬期講習 申込受付中！…詳細・お申し込みは[コチラ](#)！

◆ **【高1生・高2生対象】**冬期講習無料体験授業 **大変好評のうちに終了いたしました。**

◆ **【高2生対象】**高2でスタートする難関大への地歴・理科 **大変好評のうちに終了いたしました。**

⇒**イベントレポート掲載中！** <[コチラ](#)>

◆ **【高3生対象】**早慶大文系 入試攻略ワンポイント講義 **大変好評のうちに終了いたしました。**